

カレンダー

令和3年

1月元旦～3日	……	新年祈祷法要
2月12日	……	松岩寺開山喜庵西堂和尚每歳忌（開山和尚滅後四二三年）
15日	……	涅槃会
3月	……	春彼岸法要
4月8日	……	釈尊降誕絵（花まつり）
6月下旬	……	本山妙心寺新亡供養
8月1日～3日	……	施餓鬼受付
13日……盆迎え	15日……施餓鬼法要	16日……盆送り
9月 秋彼岸	……	秋彼岸法要
10月16日～22日	……	妙心寺開堂出向（この間、年忌法要はご遠慮ください）
12月8日	……	成道会

○定例行事・催し物の紹介○

【坐禅会】 毎週日曜日 朝6時～7時

【写経】 第2日曜・第4土曜

午後1時30分～4時30分まで（8月は盆行事のため休会）

教養講座

もったいないをかたちに【開催中】

【金つぎ教室】 講師 花輪滋實

第4土曜日 午後1時半～午後4時半



思いをかたちに【休会中】

【仏像を彫る会】 講師 高野竜生

第2・4日曜日 午後1時～午後4時

健康は声から【休会中】

【声をだして元気になる】（ボイストレーニング）

月に一度不定期に開催 講師 林 航

霊園管理費納付のお願いは、春彼岸のご案内と一緒にお届けします

例年、この欄では年中行事や寺主催の旅行へのお誘いをしているのですが今年はちょっと……。そこで、境内の北、旧中山道に面したところにある、伝道掲示板の令和3年正月に掲載するものを紹介します。



伝道掲示板には1ヶ月にひとつの言葉を紹介しています。経典の引用であったり、詩や小説のなかの言葉であったりします。道ばたの1メートル四方の掲示板ではお伝えできない、ことばの周辺はblogに載せています。



撮影 千田完治

ひとびとはかぎりなくいます／きっとすくいます／
ぼんのうはつきません／きっとなくします／おしえ
はまだまだあります／きっとまなびます／さとりは
かならずあそこにあります／きつとなしとげます

（伊藤比呂美訳「四弘誓願門」）

正月は誓いの時であり、願いの時です。これまでの元旦のことばで幾つか紹介すれば。「元旦や吾新たなる願あり」（夏目漱石）とか、「一というはじめの数にふみ出す日なり今日なり正しくあらん」（九条武子）といった具合で、みなさん「願い」「あらん」と誓っています。

誓い願うといえば、仏教の基本のキ、根本のコン、を忘れていました。「四弘誓願文」という四行の短いお経をご紹介したことがなかった。多くの宗派で読むけれど、少しずつ文言が異なり何種類かあります。以下は臨済宗でよんでいるものです。

「衆生無辺誓願度（しゅじょうむへんせいがんじ）。煩惱無尽誓願断（ぼんのうむじんせいがんだん）。法門無量誓願学（ほうもんむりょうせいがんがく）。仏道無上誓願成（ぶつどうむじょうせいがんじょう）」。

漢字というのは、意味も表してくれるから、文字を見ただけでなんとなくわかりますが、「仏教を身近にわかりやすく」が私の誓いであり願いですから、ここは、達意の現代語訳をお伝えしましょう。詩人の伊藤比呂美さんの訳です。

比呂美さんは、父母の介護と看取りのなかで、仏教に急接近していきます。そして、「翻訳に翻訳をかさね、人の声に声をかさねて、実体のわからなくなってしまった音」にひかれ、経文を現代語訳します。伊藤比呂美訳「四弘誓願文」というと。

「ひとびとはかぎりなくいます。／きっとすくいます。／ぼんのうはつきません。／きっとなくします。／おしえはまだまだあります。／きっとまなびます。／さとりはかならずあそこにあります。／きつとなしとげます。」（伊藤比呂美著『読み解き般若心経』朝日文庫）。

「きっと」のリフレインが心地良い。心地良いのですが、木魚のリズムにはのりません。どうしようか。